お知らせ

記者発表資料 配布日時

平成21年8月6日15:00(第15報)

同時発表先:広島合同庁舎記者クラブ

広島県政記者クラブ 中国地方建設記者クラブ

山口県政記者会 山口県政滝町クラブ 山口県政記者クラブ

「平成21年7月中国・九州北部豪雨」における 国土交通省の対応状況(8月6日現在)について

『平成21年7月中国・九州北部豪雨』における山口県内の災害に対し、山口県及び防府市からの要請を受け、被災状況調査等の技術支援を実施してきました。

現在は、自治体の災害復旧に向けた取り組みが円滑に進捗できるように、復旧方針や橋梁関係技術指導などの技術支援を実施しています。

※詳細は別紙のとおりです。

※中国地方整備局ホームページにおいて、河川の災害状況、 道路の規制情報等の「防災情報」を発信しています。 http://www.cgr.mlit.go.jp

<問い合わせ先> 中国地方整備局

082-221-9231 (代表)

【災害復旧支援について】

・企画部 防災対策官 方 山 082-511-6098 (直通)

「平成21年7月中国・九州北部豪雨」災害における国土交通省の対応状況について

□国土交通省による緊急支援

- ◇ リエゾンの派遣 【7月21日~24日】
- ◆災害情報の収集並びに災害支援に関する連絡調整を目的として、山口 県土木建築部へ職員2名を派遣。
- ◇ 災害緊急調査の実施【7月22日】
- ◆被災状況を把握するため、緊急調査を実施。 (本省河川局防災課 2名、中国地整山口河川国道 2名)
- ◇ 緊急技術支援の実施【7月24日~ 】
- ◆山口県及び防府市の要請を受け、被災状況調査等の技術支援を目的として、中国地整40名、中部地整から2名、近畿地整から7名、四国地整から6名のTEC-FORCE隊員等を派遣。
 - ○河川、道路の被災箇所: 107箇所
 - ○土砂災害危険箇所等の緊急点検箇所: 105箇所 ※TEC-FORCE隊員等調査分のみ
- ◆砂防支援班が28日に「土砂災害危険箇所等の緊急点検結果」を公表 したことに伴い中部、近畿、四国の派遣隊員等15名は29日で任務完了。
- ◆新たに29日から九州地整のTEC-FORCE隊員等2名が中国地整に 到着し支援を開始。
- ◆延べ373名の隊員等により支援を実施。(8/4現在)
- ◇ 国総研及び土研から土砂災害の専門家を派遣【7月22日~23日、24日~31日】
- ◆被災状況の調査及び応急復旧のための技術指導、並びに土石流検知センサーの設置等、安全対策のための技術指導の実施。 (国総研 3名、土研 5名)
- ◇ 災害復旧調査【8月3日~4日】
- ◆早期本復旧に向けた復旧方針等の技術的支援並びに助言を実施。 (本省河川局防災課 4名、中国地整 3名)
- ◇ 復旧技術支援の実施【8月1日~ 】
- ◆災害復旧事業等の技術支援を目的として、22名(延べ88名)の隊員等により支援を実施。(8/4現在)

□応急組立橋梁を活用した、一般国道262号上勝坂橋の仮復旧

- ◆山口県の要請を受け、TEC-FORCE隊員等を派遣し、7月25日から被災 状況を調査。
- ◆7月28日、被災した上勝坂橋について、中国地方整備局保有の応急組立橋梁を活用した仮復旧方針を策定。
- ◆今後、安全が確認でき次第、県により速やかに工事着手。

□直轄砂防災害関連緊急事業』の実施

- ◇山口県知事の要請を受け、新たに直轄砂防災害関連緊急事業に着手。 【7月31日~】
- ◆剣川(一級河川佐波川水系 剣川) 【事業箇所:防府市大字下右田字勝坂】【事業内容:砂防えん堤 1基】
- ◆神里川(一級河川佐波川水系 剣川 支溪神里川)

【事業箇所:防府市大字高井字神里】 【事業内容:砂防えん堤 1基】

◆上田南川(一級河川佐波川水系 真尾川 支渓上田南川) 【事業箇所:防府市大字真尾字上田】 【事業内容:砂防えん堤 1基】 総事業費 約10億円

□高速道路の無料化

- ◇山口県及びNEXCO西日本と調整し、高速道路の無料化を迅速に 実施。 【7月26日~ 】
- ◆通常: 262号で約30分の所が、被災直後、2·9号経由は、約85分(3倍) の時間を要していたが、その後、<u>高速利用経由で、約35分</u>となり、262号 経由と同程度の所要時間となった。
- ◆高速無料化後(防府西IC-山口IC)、山陽道の交通量は、約18千台増加。
- ◆これにより、2·9号の渋滞も緩和された(85分→72分)。

□災害対策用ヘリコプターによる現地調査【7月21日~】

◆国土交通省保有災害対策用へリコプターによる調査を、7月21日 (はるかぜ号)、7月22日、23日、25日(愛らんど号)に実施。

□災害対策用機械の派遣【7月21日~】

- ◆夜間の災害復旧作業を支援するため、照明車4台を派遣。
- ◆降雨による溜め池等の排水対策として、排水ポンプ車3台を派遣。
- ◆地域住民の避難等に資するため、衛星通信車(1台)、Ku-Sat(小型衛星画像電送装置:3台)など、リアルタイム映像提供器機を派遣。

